

# 競技注意事項

## 1. 競技規則

- (1) この大会は、2026 年度日本陸上競技連盟の競技規則、および本大会申し合わせ事項による。
- (2) 不正スタートについては、1 回不正スタートを行った競技者は失格となる。ただし、混成競技のトラック種目においては、次頁の「混成競技規則について」に従う。

## 2. 競技場の使用

- (1) 競技開始から終了までの間、競技役員・競技者・生徒役員以外は競技場内に入ることを禁止する。また、本部前の通行は禁止する（走幅跳の競技者は除く）。
- (2) 投てきの練習は、大会会場内の各競技場所において、決められた時間のみ行うことができる。それ以外の場所や時間での練習は禁止とする。
- (3) 競技終了後は、各待機場所の掃除をしてゴミは各自が持ち帰ること。

## 3. 招集

- (1) 招集はすべて現地招集（混成競技を含む）で行う。
- (2) 招集開始時刻は、トラック・フィールドとも競技開始時刻の 30 分前、完了は 20 分前とする。招集完了時刻の 10 分前までには競技場所に集合し、競技者本人が点呼およびアスリートビブス、スパイク、シューズの確認を受けること。ただし、競技中の場合には代理人でもよい。
- (3) 最終点呼を受けた後は競技役員の指示に従うこと。やむをえず招集地点から離れなければならない場合は競技役員に申し出ること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた場合は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 競技が遅れた場合でも、プログラムの記載時刻通りに招集を完了すること。

## 4. 競技運営

- (1) プログラムの訂正・棄権届出用紙(プログラム巻末綴込み)は、審判顧問コーチミーティングまでに監督が本部に提出すること。それ以降にやむなく棄権する場合は、各競技場所で審判に申し出ること。
- (2) スパイクピンはオールウェザー用 9mm 以下を使う。ただし、走高跳は 12mm 以下を使用すること。なお、シューズについては WA 規則を適用する(シューズは 20mm 以内、ただし砲丸投・円盤投は除く)。
- (3) 各種目の判定については、審判の判定を絶対とする。判定に不服があるときは、県中体連陸上競技部専門委員長および県陸協普及部長に申し出る。

## 5. 四種競技

- (1) 各種目の競技順は以下の通りとする。

|        |                             |
|--------|-----------------------------|
| 男子四種競技 | 110mH・砲丸投(4kg)・走高跳・400m     |
| 女子四種競技 | 100mH・走高跳・砲丸投(2.721kg)・200m |
- (2) 各種目の得点は、男子四種競技は男子十種競技、女子四種競技は女子七種競技の採点基準で行う。
- (3) 走高跳のバーのあげ方は以下の通りとする。ただし、当日のグランドコンディションにより変更することもある。

|    |         |     |     |     |     |     |     |     |   |           |
|----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----------|
| 男子 | 130(練習) | 135 | 140 | 145 | 150 | 155 | 160 | 163 | … | 以降 3cm ずつ |
| 女子 | 110(練習) | 115 | 120 | 125 | 130 | 135 | 138 | …   | … | 以降 3cm ずつ |
- (4) 最終種目のスタートリストは、正面入り口前に準備する。

## 6. アスリートビブス

- (1) アスリートビブスは、全競技者胸と背部(跳躍競技は胸または背部いずれかでも可)に縦 16cm 横 24cm 程度の白布で男女とも黒字で明確に記入し四隅密着のこと。
- (2) トラック種目に出場する競技者は、腰ナンバーカードをつけること。ただし、腰ナンバーカードはプログラム記載のレーンナンバーをつける。
- (3) なお、アスリートビブス、腰ナンバーカードとも各校で準備すること。
- (4) 3000m 競歩は胸・背部に別アスリートビブスを使用する。出場者は招集開始 1 時間前までに本部に受け取りに来ること。また、別アスリートビブスの回収はゴール付近でビブス回収の生徒役員が対応する。

## 7. 表彰

混成、競歩は各種目 3 位までを表彰する。